



議会だより

12月定例会号

平成29年 1月27日発行

No.135

# こうみ

12月議会 ー第4回定例会ー

こんなことが決まりました

②

一般質問

④

林業センターから見た八ヶ岳

常任委員会からの要望

⑫

編集後記

⑭

きかせて あなたたちの夢

あなたたちの未来に寄り添うまちに



# こんなことが決まりました

## 28年度 一般会計補正予算（第4号）全員賛成で可決

1億6,686万円を追加補正 総額45億7,062万円

### 【歳入の主なもの】

●個人町民税	500万円
●地方創生推進交付金	△1,242万円
●土木費補助金	4,469万円
●耕作条件改善事業補助金	1,203万円
●ふるさと寄付金	760万円
●繰入金	1,941万円

### 【歳出の主なもの】

●情報セキュリティ強化対策事業	1,200万円
●農集排関連の減債基金積立	1,940万円
●番号制度システム改修	120万円
●後期高齢者医療負担金の精算	331万円
●広域保育事業等保育所費	142万円
●耕作条件改善事業（水路改修費）	1,700万円
●東馬流公民館公衆トイレの整備費	648万円
●道路工事の追加等	7,825万円
●美術館の上映システム更新工事費	1,976万円

### 【財源の主なもの】

●地方交付税	8,358万円
●国庫補助金	3,447万円
●県補助金	1,466万円

## 28年度 一般会計補正予算（第5号）賛成多数で可決

観光拠点施設整備事業（からまつ林業センター改修に係る設計委託料）540万円追加計上

## 28年度 特別会計補正予算 全員賛成で可決

国民健康保険事業特別会計	3,152万円追加補正	総額 6億8,157万円
介護保険事業特別会計	26万円追加補正	総額 6億4,628万円
農業集落排水特別会計	3,326万円追加補正	総額 6,346万円
水道事業会計（資本的支出）	2,036万円追加補正	

平成28年小海町議会第4回定例会が12月6日から19日まで14日間の会期で開催されました。人事案3件、条例改正案等7件、補正予算案6件、陳情3件、発議2件の合計21件で審議が行われ、陳情2件を除くその他の案件が可決・採択されました。

一般質問は、8名の議員により行われ、町の考えをただしました。

# 12月議会 第4回定例会で

## 条例改正等

### ◆小海町保健センター条例制定

総合センター保健室等の改修工事が完了し、整備されたことから、地域保健法に基づく町保健センターとして条例で位置づけるものです。 **全員賛成で可決**

### ◆小海町使用料徴収条例の一部改正

総合センターの改修工事に伴い、室区分を変更するとともに、使用料について北牧染集館と均衡を保つよう引き下げるものなどです。 **全員賛成で可決**

### ◆小海町営住宅管理条例の一部改正

旧町公民館跡地に建設中の土村南町住宅の家賃を月額39000円とするものなどです。 **全員賛成で可決**

### ◆小海町営路線バス運営審議会条例の一部改正

路線バスの運営のみならず、公共交通関連事業についても調査審議できることを明確にするものです。 **全員賛成で可決**

### ◆小海町農業集落排水施設の設定及び管理に関する条例を廃止する条例

松原地区と八那池地区の農業集落排水事業を廃止するもので、

関連する特別会計条例と積立金条例の一部改正を行うものです。 **全員賛成で可決**

### ◆定住自立圏形成協定変更

佐久市との現協定に、ICT教育の推進、六次産業化による農業振興、道路等交通インフラの整備の取組みを追加するものです。 **全員賛成で可決**

## 契約変更

### ◆建設工事請負契約変更

大田団地造成工事について工期を1月末から3月30日まで再度延長するものです。 **全員賛成で可決**

## 人事

### ◆人権擁護委員候補の推薦について

人権擁護委員候補の推薦について次の2名が適任とされました。

- ・井出 清文氏 (宮下) 新任
- ・小山 由美子氏 (宿渡) 新任

### ◆小海町農業委員会の任命同意について

小海町農業委員会の委員14名について14名すべてが同意されました。 **全員賛成で可決**

## 議員発議

### ◆地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について

**全員賛成で可決**

## 陳情

### ●免税軽油制度の継続を求める陳情書について

陳情者 榊シャトレーゼリゾート八ヶ岳 代表者 古屋 竜二

全員賛成で採択し、衆参両議長、関係大臣に意見書を提出しました。

### ●最低制限価格の設定に関する陳情書について

陳情者 長野県建築士事務所協会 会長 小河 節郎

長野県建築士事務所協会 佐久支部長 土屋 正明

全会一致で不採択

### ●地域活性化の拠点となる小海高校の存続と35人以下学級の導入を求める意見書を県知事に提出するよう求める陳情について

陳情者 長野県高等学校教職員組合 佐久支部代表 小林 修一

賛成少数で不採択

## 第4回定例会の審議中意見の分かれた議案

(○は賛成 ×は反対)

(議員氏名)	有坂辰六	篠原伸男	篠原義從	篠原憲雄	新津孝徳	鷹野弥洲年	篠原恒一	的埜美香子	井出 薫	土橋勝一	佐藤二三雄	鷹野雄之助
(議案名等)												
地域活性化の拠点となる小海高校の存続と35人以下学級の導入を求める意見書を県知事に提出するよう求める陳情	×	○	×	○	×	×	×	○	○	×	×	議長職
28年度一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	

問

# 本間川茨沢線（久保線）落石防止ネットの設置について 公共下水道区域外合併浄化槽設置状況について

答

産業建設課長 山林所有者の協力を頂き、立木の伐採事業を取り入れ落石防止  
町民課長 住宅新築改築等に合わせて合併浄化槽設置



篠原 憲雄議員

**問** 過去何回か歴代区長本間川茨沢線（久保線）道路改良等陳情した経過がありますが、現在は耕作者もなく主に釣りの利用者です。春先には凍みが緩み一部落石箇所があり、人命に危険が生じる恐れがあります。落石防止ネットの設置をすべきではないかと思えます。考えはどのようなようか。

**産業建設課長** 現場は2年前からこの危険防止対策について検討してきています。後ろが山林でありますので治山事業でできないかということで、佐久建設事務所、林務課とも

相談し、現場を見てもらいましたが、この状況ではなかなか国・県の事業として実施は難しいという状況です。今検討している方法としては、山林の所有者のご協力を頂き、立木の伐採事業を取り入れてこの事業に合わせて落石防止もできればということに検討しているところです。今後春先の通行者への危険防止の看板等を設置し、注意喚起を進め、早めの危険防止対策の実施を検討します。

**問** 公共下水道区域外浄化槽設置状況はどのような状況で

すか。衛生的で快適な生活を送るために、合併浄化槽設置の推進をすべきと思いますが、合併浄化槽設置について国が3分の1、県が3分の1、町が3分の1の補助があり、合併浄化槽の金額によっては自己負担も少額で設置可能であるので、更にリフォーム事業等も活用し、合併浄化槽設置の推進をすべきと思うが考えはどのようなようか。

**町民課長** 公共下水道区域外合併浄化槽設置について町全世帯数1947世帯のうち1007世帯52%が公共下水道です。339世帯が合併浄化槽17%、残りの601世帯31%が汲み取りといった状況です。衛生的で快適な生活を送るためには公共下水道エリア外で合併浄化槽の設置が望ましいことは考えています。ただ、現状の合併浄化槽の設置のみのケースはなく、住宅の新

築や改築に合わせて台所、トイレ、お風呂場といった箇所と同時にほとんどということですので、それと合わせますと多額の改修費がかかってしまいます。町でも住宅リフォーム事業等補助制度がありますので、ご利用いただければと思います。



役割を終えた八那池農集排水処理施設

# 問 美ノ輪荘の新築と運営による町の活性化は

**答** 町長 介護従事者の人材確保に取り組んでまいります。  
町民課長 美ノ輪荘の計画について広報等でお知らせします。



有坂 辰六議員

## 美ノ輪荘建設の現在の進捗状況について

**問** 美ノ輪荘の移転建設について現在の進捗状況をお聞きします。

**町民課長** 地元説明会を2回実施して地元の皆さんの意見・要望をお聞きし、美ノ輪荘移転建設についての基本計画を了承して頂きました。29年4月に着手、予定通り30年4月からの運営を開始する予定でいます。来年の早い時期に広報等で住民の皆さんにお知らせしようと思っております。

## 福祉・介護職員確保について

**問** 新しく建設される美ノ輪荘では介護職員の増員が予定されているようですが、現在佐久地域では公設や民設の養護・介護施設が多数運営されており、介護職員の不足が懸念されています。私はこの課題を医療・福祉・介護施設が充実している小海町だからこそ、人口減少問題と併せて若者定住促進と働く場の提供できる施策として捉えるべきであると考えています。男女を問わず高校から介護関連の専

門学校や大学等で学んで資格を取り、小海町や近在の通勤できる施設に就職して仕事をする若い世代には、奨学金の返済を免除するなどの思い切った施策が必要だと考えますが、町長の考えをお聞きします。

**町長** 美ノ輪荘の運営は介護職員の確保も含めて、事業主であるJA長野会が責任を持つて行うことは当然のことです。介護職員の不足に関しては、全国町村長大会に於いて介護従事者の養成や処遇改善など、人材確保に取り組むことを決議したところであります。町では過去保健師の採用について町独自で奨学金の免除を行った経緯があります。南佐久郡の町村会でも若者定住といった面からも議論がなされ、事業主の責任と行政がどこまで踏み込めるのかも含めて、南佐久郡6カ町村で研究してまいります。それには当然財政的支援も必要でしょうし、併せて大学あるいは短大の皆さんとも協議する必要

があると思います。奨学金免除の件も含めて、この要望に對してしっかりと取り組んでまいります。

**有坂議員** 小海町は今年、人口減少対策や若者定住促進対策として、本間大田団地の宅地造成や子育て世代の定住促進住宅の建設など、積極的に取り組んでいます。本提案もこれらの施策と関連する最も重要な課題でありますのでよろしくお願い致します。



美ノ輪荘完成イメージ



# 問 林業センターの建て替えは観光の拠点施設に

答 町長 小海町の西の玄関口と位置づけたい



鷹野 弥洲年議員

**問** からまつ材のPRや林業振興の目的で整備された国道299号線沿いの林業センターの建て替えを計画しているが、現状は建設当初の目的とはかけ離れている。単なる建て替えでは発展性がなく、目的も名称も変えて小海町の観光振興に繋がるような施設にすべきではないか。そして周辺整備をおこなうことが大事であり、北牧財産区の協力をいただきレンゲツツジやヤナギラなどの群落や白樺林を整備し、リエックスや温泉・美術館・松原湖にお客さんが寄つてもらえるようにすべきだ。

**町長** 観光交流拠点施設として整備したい。来年度には中部横断道も八千穂まで開通する。観光案内・物品販売・レストラン機能を持った西の玄関口とし誘客促進・交流人口の増加に繋げたい。

**白駒の池への送迎の拠点に**

**問** 299号が白駒の池入口付近で度々交通渋滞を起こしている。昨年の一般質問で対策の必要性を訴えたが、その重要性を理解していただけなかった。この渋滞は年々ひどくな

っている。せっかく遠くから来ても駐車が出来ないために諦めて帰るとイメージダウンになる。渋滞解消と自然保護のために期間限定・時間限定でも良いから交通規制を行うべきだ。そして林業センターの所からシャトルバスなどで送迎を行う拠点としてはどうか。このために関係者と協議会を発足させ対策の検討を始めるべきだ。また周辺環境の整備を行い、デジタルセンターの役割を担い周辺の案内をし、北八ヶ岳および小海町への玄関口とし、小海町の観光振興に繋げてはどうか。

**町長** 白駒の池の駐車場の混雑。その弊害は自然保護の点からも喫緊の課題と認識している。11月に関係者の会議を持ちシャトルバスの送迎も議論した。今後検討会議を続けていく。自然保護の見地と交通渋滞によってかえ

ってイメージダウンにならないように県及び関係団体と総合的に判断していきたい。現時点では時間的な制約もあり、周辺整備やデジタルセンターまでの計画は描けないが、西の玄関口として位置づけ今後全体の周辺整備を考慮しつつ先行して建物の建て替えを行い計画していきたい。



林業センターから見た浅間山

# 問 平成29年度の事業構想について

答 町長 町民の為に良い形での事業及び予算を計上していく



篠原 恒一議員

**問** 平成29年度は町長にとって任期最終年となり、自身で提案予算化を計る最後の年でもある。今までの経験を生かし町民にとって最良の施策を構築され、3月議会に提案される事を望むものです。29年度の課題として私なりに3点伺い、町長の考えをお聞かせ頂きたいと思えます。

**(1) TPPの問題について**

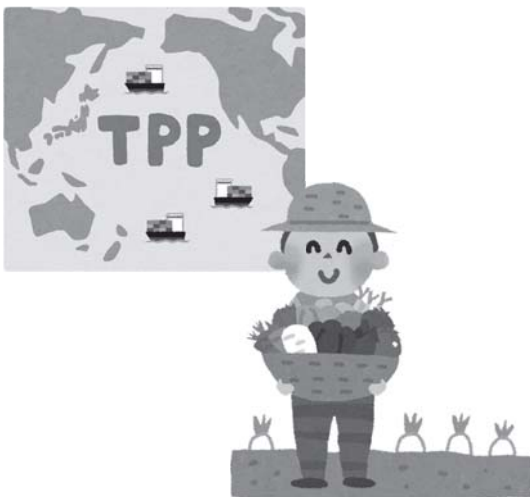
政府は12月9日TPPの承認案及び関連法案を可決した。将来農業が主力の当町にとって影響が出てくると思うが対策は。

**(2) 農業改革について**

規制改革推進会議の提案は本来の改革の本質から農協の改革に一步踏み込んで農協組織への不当な介入をしようとしている。今後の方向によっては町の基幹産業である野菜の販売について農家の所得増大どころか減少となる要素を含んでいる。対策は。

**(3) 社会保障関係について**

厚生労働省は平成29年度より制度の見直しを決定した。高齢者、低所得者にとって増



々厳しい改正となっている。町としての対応は。  
町長29年度の事業構想を考える中で、この3点についても力を注いでもらいたいと思います。

**町長** 2期目の集大成として取り組んでいく

(1)のTPP問題については今後の動向を注視しながら対応していく。

(2)の農業改革については今後南部5カ町村、JA長野八ヶ岳と連携し、産地を守る対応と合わせ振興に努めていく。

(3)の社会保障関係については高齢者がいつまでも安心して住み続けられる政策を進めていく事になりありません。町でどのような支援が出来るか考えている。  
29年度予算について町民の皆さんにとって良い形での予算を計上していく。

**篠原議員** 継続的な事業また新たな事業、いろいろやりた事はあると思います。花を咲かせる最後の年となります。3月での提案に期待しています。

# 問 アニメ映画の原風景になる 地域資源を生かした町づくりを

**答 町長** 環境整備をすすめ、友達・家族で何回も訪れていただける町づくりを目指します



篠原 伸男議員

**問** グローバル化が進み、工場は海外へ。しかし訪日外国人が増えている今、小海町の地域資源を活用した町づくりを進めるべきだが、町長のお考えをお尋ねいたします。

**町長** 地域の資源を生かした町づくりは自然を大切にすること、これを観光に結び付けたいです。

**問** 地域資源とはその地域特有の資源で、小海では広義での自然がもたらす水・土・森林等であり、狭義の自然・風景と小海が生んだ人です。土

は大地を活用して農業を、森林は林業と水を提供し、地場産業として、私達に恩恵をもたらしており、自然・風景はもって活用する余地があるのではないかと。例えばリエックスに向かう県道沿いの白樺林・神社林そして、29年度全面改築計画の林業センター周辺のレンゲツツジ群落等、この小海町特有の資源の活用をどのように考えていますか。

**町長** 今、話のありました県道沿いを整備しなければならぬのは私も全く同じ考えです。林業センター周辺は眺望

も素晴らしいし、夜空・星空のきれいな所で、職員と知恵を出して29年度予算に盛り込みたいと思います。

## 人的資源による原風景

### 小海町の活用を

**問** 地域資源である自然・風景の利用と併せてその活用が大切です。それには今、小海町出身で世界的な活躍をしている「君の名は。」の新海誠監督を活用し、故郷の飛躍の為に絶大な協力をお願いすべきです。アニメ映画制作は3年程費やすようです。その間、小海町の隅々を訪問していただき、小海町の四季折々が新海さんのアニメ映画の原風景であると周知されれば、聖地巡礼や訪日外国人の来町等、小海町への交流人口は増えると思います。交流人口の増加は経済的恩恵を生み出します。将来に向けて、この資源活用にどのように取組んでいきますか。

**町長** 新海誠監督の育った美

しい風景を保全し、交流人口増になる策を講じていきます。

**篠原議員** 新海誠さんのアニメーションによって、小海町に新たなレジエンドが生まれたいと思います。それに相応しい施策を強く要望いたします。



整備された白樺林

雑然とした白樺林



## 問 林業センターの新築計画について

**答** 町長 林業センターは小海町の西の玄関口でありますので建て直し、観光拠点とし活用する



篠原 義從議員

**問** 老朽化した林業センターを1億円の事業費で建て替え、新築を計画しているようですが、先に質問がありました。答弁は「小海町の観光拠点として位置付け、観光の振興、小海町活性化のための総合計画を立て事業を進める」私も同感であります。投資する金額に見合うような総合的な計画を立て実行していただきたいと思います。私も町政に関わるようになりまして3年8ヶ月ほど経過いたしました。その間、林業センターに関する議論はもちろん、情報も入ってきてませんでした。林業セ

ンターの今日に至るまでの経過と現状の説明をお聞きしたいと思えます。  
**総務課長** からまつ林業センターでございますけれども、昭和55年に建築されました。昭和36年ということでございます。昭和62年までは町の直営で運営が行われてまいりましたが、昭和63年以降は開発公社へ運営委託し、また制度が変わりまして、平成19年からは指定管理で開発公社に。開発公社は民間企業にお願いし、民間企業が業務を行っています。今まで町から一般財

源を使って指定管理法人を支援するということはございません。築36年経っているということ、施設そのものの老朽化は否めないというのが現状でございます。

**問** 開発公社から民間企業へと業務委託との事ですが、開発公社から民間企業への資金援助はあったのか。

**町長** 当然開発公社も一円もお支払いしていません。賃借料を頂戴しているということでございます。

**問** この先、町が一般財源を出していくことの無いようお願いし、冒頭申し上げました林業センターを拠点にし、町が多方面に活性化になるよう計画実行に移していただきたい。

**町長** 議会の同意が得られるということが前提にある訳ですが、整備にあたっては具体的な機能や地理的な特性を活用して指定管理者も含め、魅

力ある施設、町づくりを行ってまいります。



改修予定のからまつ林業センター

## 問 就学援助費の支給時期を早くし、認定基準の見直しを

**答 教育長** 受給者の想いに沿った形での支給方法について検討。漏れのない認定を心掛けている。



的埜 美香子議員

**問** 就学援助費の支給時期が9月では遅い。申請、審査の時期を早めに出せないか。

**教育長** 受給資格の認定を行う上で、所得の判定基準となる住民税の非課税世帯の判別が6月以降になるという事情がございます。一旦立て替えていただき後ほど助成するという形をとっています。今後、審査の手続き等を工夫することで助成費がもう少し早く受給者の手元に届くよう検討をしていきたいと考えます。

**問** 入学準備金だけでも入学

時期に間に合うように。

**教育長** 総合的に議論し、受給者の想いに沿った形での支給方法について検討してまいります。

**問** 認定基準に母子・父子家庭の児童扶養手当支給世帯や国民年金や国保料の減免世帯などを加え、今の基準ギリギリのラインで認定されなかったということがないようになっているだろうか。

**教育長** 町の認定基準は単に所得制限だけでなく、生活状

態が極めて悪い家庭については、学校長や民生児童委員、保健師等のきめ細かな連携で総合的に審査し、漏れのない認定に心掛けています。

**的埜議員** どの子も安心して学校で学び、遊び、生活する権利があり、それを保護するセーフティネットの一つが就学援助制度。しっかりと活用できるような中身になるよう見直ししていただくよう要望します。

### 病児・病後児保育について

**問** 今、共働きや一人親世帯が多くなる中、子どもが急に熱を出したり、病み上がりの子どもを預かる病児・病後児保育の県内市町村での実施が広がっている。小海の保育事情を見たときにもこの事業を実施していただきたいと思うが。

**町長** 保護者の皆さんにはそういった施設が整っていることは安心ですし、仕事を休ま

なくてよい利点はあるわけですが、施設の整備、改修、看護師等の職員配置、あるいは病院との連携、また病院にお願いする場合には病院の部屋の確保、色々な検討課題がたくさんあり、現時点で即実施するということは非常に困難であります。町単独ではなく、病院とご相談を申し上げながら、佐久穂町での千曲病院での様子をお聞きし、今後判断していくしかありません。

その他、子ども議会についてと町民生活応援（灯油等）事業を定着事業に。を質問しました。



小海保育所 未満児教室の様子



# 問 オスプレイ、Hエリアでは夜も訓練をすると米軍が

答 町長 安全性に関する不安、生活環境等への影響、この回答では払拭されていない



井出 薫 議員

**問** CV22オスプレイがなぜ横田基地に配備されるのか。この問題は安保条約に賛成の人も反対の人も真剣に考えなければならぬ。北朝鮮のミサイル発射や中国の脅威などに、ただ単に抑止力という軍事一辺倒で、私たちの安全は本当に守れるのでしょうか。前回、①CV22オスプレイは同じMV22と比べても墜落事故の多い世界最悪の欠陥機といわれている。②米空軍特殊作戦機という超低空で敵地に侵入し拉致・暗殺などの隠密秘密作戦を行なう任務をもっている。③横田基地のHエリ

**問** 横田基地へのオスプレイ  
**町長** 県、佐久地域の関係市町村で騒音等について対応の協議会も開かれております。国の方針、動向など、情報をいち早く各町村におろして頂くようお願いしている。私自身、勉強不足ということが実情でございます。

アを訓練空域にし、小海町もH訓練空域に入っている。などを議論した。町長は情報をキャッチし、何よりも安全確保が重要と答えられた。その後の取り組みは。

配備は、平成29年下半年に3機、平成33年に7機です。県知事、市長会長、町村会長連名の要請行動について、その内容と答えは

**町長** 飛行訓練の情報開示と事前説明、環境保護、米軍への申し入れなど3点。回答は当然満足のいくものでない。

**問** 藤野保史衆議院議員の質問主意書の答弁書では、飛行経路など承知していない、説明しない。地域住民や周辺環境に悪影響はない、調べない。長野県からの要請などを、日米合同委員会で協議を行なうことは考えていない、などです。地域住民の命・くらし・



翼を閉じたオスプレイ

安全を守る為に、オスプレイの配備はご遠慮願うという声を上げてもらいたい。が。  
**町長** 小海町の上空を通らなければ他はよいという議論にはならないと思います。関係する皆さんと一緒に住民の安全を守っていく責務を遂行していきたいと思えます。

**井出議員** 佐久広域の中でも「なかなか大変だ危険だ」という姿勢を持って活動されることを強く要求します。



## 総務産業

●小海町農業集落排水事業の今年度廃止に向け、関係区と協議の上、適正でスムーズな会計及び財産等の処理に努められたい。

○町長

本定例会小海町農業集落排水事業関係の条例の廃止及び一部改正によりまして、事業の廃止に向け適正的確に事務処理を進めてまいります。特に地元松原区および八那池区と協議し、ご理解をいただき会計及び財産処理等を進めてまいります。



●公共工事での工事監理については、的確な実施（監理）に努められたい。

○町長

公共工事の監理につきましては担当職員、そして業務を委託した業者と共に、設計図や施工計画書どおりに工事が行われているかどうか的確なチェックや指導をしっかりとまいります。



工事中の箕輪橋

## 民生文教

●小海町出身・新海誠監督の映画「君の名は。」が大ヒットし、同映画の展覧会を開催している町美術館には全国から多くの来館者が訪れている。展覧会が終了後も継続的に新海誠監督に関連した事業を行い、小海町を広報されたい。

○町長

新海誠監督作品「君の名は。」展は開館以来県内外から2万人近い皆様に鑑賞いただいております。この企画展を生かし、新海誠監督の描く原風景をアピールし、町民を含めた新海誠監督プロジェクト委員会で映画上映会、横断幕の設置、あるいは作品映像を使ったアイテムの開拓、情報発信、拠点づくり、環境整備等新海誠監督に関する事業を現在検討しているところでございます。また来年には高原美術館20周年と併せて、新海誠監督デビュー15周年の記念企画展を予定しております。新海誠監督の故郷として、一過性ではなく継続的に事業を展開し、小海町を広く広報し、そして活性化の原動力としてまいりますと考えております。



改修予定の美術館シアター



## 予算決算

●地方創生推進交付金事業―地域ポイントシステム構築―は厳しい財政状況の中、一般財源で実施されるので、こும்みPねっと協同組合等Pポイント構成事業者を速やかに確定し、ポイント付与によって、利用する町民の皆さんの利便性と利益が高まるよう事業者を指導されること。

また、地方創生拠点整備交付金事業は国の動向をしっかりと見極め、対象外とならないよう細心の注意をはらうこと。

### ○町長

地方創生推進交付金事業の地域ポイントシステム構築事業につきましても、協議会で協議しこும்みPねっと協同組合、商工会の要請により申請しましたが、構築事業費が補助対象から除外され、一般財源でお願いせざるを得ないこととなりました。こும்みPねっと協同組合、商工会と共に町の商工業の活性化と利用する町民の皆さんの利便性と利益をより高めるよう行政の参加はもとより構成事業者の確定、こும்みPねっと協同組合、商工会のやる気を行政もしっかりとサポートし指導してまいります。また観光拠点施設整備事業の推進のための地方創生拠点整備交付金につきましても、国の動向をしっかりと見極め、情報収集に努め来年1月中の交付決定に向け国・県にしっかりと働きかけてまいります。

●国庫支出金・県支出金の申請は交付要綱等を熟知して臨むこと。

### ○町長

地方創生推進交付金事業、コミュニティ助成事業等、国・県の補助金につきましても、町民の要望を聞きながら、国及び県の関係者等連携を密にして交付要綱等を熟知した上で、申請、対応してまいります。



貴重な観音様が奉納されている  
稲子地区清水観音堂



古文書の整理はとても細かい作業です。

### 民生文教常任委員会 現地視察

民生文教常任委員会では現地視察として北牧葉集館で行われている歴史と文化の会の古文書整理作業の様子と、改修の計画がある稲子地区清水観音堂を視察しました。

# 臨時議会

平成28年第4回臨時議会 11月18日開催

## 契約変更

◆本間地区での宅地造成工事の工期 平成28年11月25日までを平成29年1月31日まで延長するものです。  
全員賛成で可決

## 条例

◆人事院勧告に伴う条例を一部改正するものです。  
全員賛成で可決

## 補正予算

◆一般会計補正予算(第3号) 673万円を追加補正  
総額を4億376万円  
主な補正内容は人事院勧告によるものと新海誠監督「君の名は。」展運営費の追加計上です。  
全員賛成で可決

## 特別会計補正予算

◆特別会計補正予算 全員賛成で可決  
介護保険事業特別会計 16万円を追加補正  
水道事業会計(収益的支出) 総額を6億4602万円  
23万円を追加補正  
総額を9353万円



大盛況だった新海誠監督作品「君の名は。」展

# 議会を傍聴してみませんか

## 次回定例会は 3月開催予定です

議会ではどんな発言をしているのか、またどんなまちづくりを考えているのか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひ、お越し下さい。

車椅子をご利用の方は、議場内の専用スペースで傍聴することができます。



議会に関する事は町ホームページをご覧ください。定例会一般質問を音声により聞く事ができます。また、会議録もホームページへ掲載しておりますので、ご覧ください。

小海町議会

検索

詳しくは、**議会事務局**電話 0267-92-2525 にお問い合わせください。

## 編集後記

オリックス・リビングが、40代以上の男女を対象に介護に関する意識調査を行いました。介護休業制度の内容について、「知らない」「聞いたことはあるが、内容まではわからない」と答えた人の合計が全体の8割に上りました。これは、働きながら介護を担う人のための休業制度で、平成29年1月からは、介護期間を通じ通算93日間を3回まで分割取得することが可能になりました。周知を徹底して、職場の介護離職を防止したいものです。

企業だけでなく地域での「支えあい」も重要です。「認知症と思われる高齢者に声をかけられるか」という質問に、「できる」と答えた人は全体の2割強です。高齢化の進む小海町、こちらも課題が多いようです。  
(編集委員 井出 薫)

- 編集責任者 鷹野雄之助
- 編集委員長 土橋 勝一
- 編集委員 新津 孝徳
- 編集委員 鷹野弥洲年
- 編集委員 井出 薫